

2014年12月8日
株式会社東陽テクニカ

東陽テクニカがストレージシステム・パフォーマンス検証テスト 「Load DynamiX」の提供を開始 ストレージシステムのパフォーマンス保証とコスト最適化を狙って

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区、代表取締役社長 五味 勝)は、2014年12月8日(月)より米国 Load DynamiX 社のネットワークストレージシステム検証テスト「Load DynamiX」の販売、及び同製品を用いた測定サービスを開始します。

Load DynamiX 社は旧 SwiftTest 社時代にストレージシステムメーカー向けに試験器を販売してきましたが、このたび社名を Load DynamiX 社に改め、製品コンセプトを一新するとともに、クラウド・データセンタ・サービス会社やストレージシステムを自社インフラで利用する企業を主要顧客と位置付けました。また、製品販売のみならず、試験サービス・コンサルティングをビジネスの柱に加えました。

Load DynamiX 製品は、ストレージシステムに高度な負荷を与えることができるテストです。ストレージシステムが配置された実環境では、単純な IO だけでなく、VDI、メール、データベース等のアプリケーション、及びユーザの様々な振舞いによって複合的な負荷が掛かります。Load DynamiX 社は実環境化でストレージに掛かる全ての負荷を分析し、忠実に再現するテスト手法を確立しました。

ネットワークストレージシステムの導入に当たり、多くの場合メーカーのデータシートスペックが参照されます。これらの情報の多くは、理想的な環境で測定された値です。また、ストレージのパフォーマンス検証には仮想サーバーを多数用意し、フリーウェアツールを使用して負荷を掛けるテストが一般的です。フラッシュストレージが台頭しつつある現在、このテスト手法では負荷量が足りず、テストの再現性もありません。一方で、サービス中のトラブルを恐れるあまり、過大なプロビジョニングによってコスト上昇を招くこともあります。

Load DynamiX 製品はシステムインテグレーターやエンドユーザ(クラウド事業者等)が、不安なくサービスを開始し、コスト削減するために、最適なストレージシステム及び構成を選択することに貢献します。

なお、製品販売と並行して、お客様のストレージテストの作業負荷を軽減するためにプロフェッショナルサービス(ストレージテストの請負サービス)を展開します。

◆製品の特長

Load DynamiX 製品は、実環境下の負荷の解析を行った後、忠実に再現する能力を持ったテストです。

メール、データベース、VDI、共有ストレージ等、様々なアプリケーション実行時やユーザの振舞いによってストレージに掛かる負荷を再現することができます。また1台のアプライアンスで最大140Gbps、360万IOPSの負荷発生が可能です。

◆ハードウェアの概要(仕様)

Load DynamiX 1G シリーズ 1GbE 最大8ポート

Load DynamiX 10G シリーズ 10GbE 最大8ポート

Load DynamiX FC シリーズ 4/8/16G FC 最大8ポート

Load DynamiX Unified シリーズ 10GbE/4ポート + FC/4ポート



サポートプロトコル:

16/8/4G Fibrechannel, 1/10G Ethernet
CIFS/SMB, SMB2.X, SMB3.0 direct Client, SMB2.x Server
NFS: v2, v3, v4, v4.1 Client, NFS v3 Server
iSCSI イニシエータ / Fibrechannel イニシエータ
HTTP/HTTPS Client, Server
Authentication: NTLM, Kerberos, CHAP

◆提供価格(税抜)、販売目標

ハードウェア価格:670 万円～

ライセンス価格:320 万円～

プロフェッショナルサービス(標準テスト期間 10 日) :250 万円～

初年度製品販売目標:10 台 プロフェッショナルサービス受注目標:15 件

◆Load DynamiX 社について

Load DynamiX 社は、ストレージシステム用テストソリューションの開発/販売を行っています。2009 年、ストレージシステムメーカー向けにストレージテストの支援製品の提供を目的として設立されました。2014 年に Load DynamiX と社名を変え、現在はストレージシステムのエンドユーザ(クラウド事業者等)に対し、ストレージのパフォーマンス、コストの最適化に資するソリューションの提供を目指しています。2014 年米国 EMC² 社の Partner of the Year を受賞しました。米国カリフォルニア州 Santa Clara にあるプライベート・カンパニーです。

◆株式会社東陽テクニカ について

東陽テクニカは昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400 人を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、www.toyo.co.jp をご覧ください。

[報道関係者 / 読者 お問い合わせ]

株式会社東陽テクニカ

情報通信システム営業部 田頭 直樹

TEL:03-3245-1250 E-mail:tagashiran@toyo.co.jp

パステル・ネットワークス株式会社

広報担当:安藤

TEL:03-6234-4472 / 090-3504-7889 E-mail:ando@pastelnetworks.com

記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。